



問 題

◎指示があるまで開かないでください。正解は最終ページに掲載しています。

(注)

文中、下記の用語については、次の意味となりますので、注意してください。

市町村：市町村及び特別区

介護支援分野

問題 1 ~ 問題 25

問題 1 2005（平成 17）年 10 月の改正介護保険法の成立の背景について正しいものはどれか。3 つ選べ。

- 1 要支援・要介護 1 の認定を受けた人が認定を受けた人の半数を占めていた。
- 2 介護保険法改正では、明るく活力ある超高齢社会を構築するため、予防重視型システムへの転換が図られた。
- 3 制度改正の前提として、要介護となる原因を「脳卒中モデル」「廃用症候群モデル」「認知症モデル」の 3 つに大別し、とくに脳卒中モデルに対するケアに重点を置くことが求められた。
- 4 サービスの質の向上を図るため、事業者・施設の更新が定期的に行われる必要があった。
- 5 個人情報保護の観点から、介護保険法第 1 条に「利用者のプライバシーの保持義務」が追加されることになった。

問題 2 社会保険としての介護保険の性格について適切なものはどれか。2 つ選べ。

- 1 地域保険であり、かつ、長期保険といえることができる。
- 2 原則として、サービスは現物給付で行われ、現金給付（金銭給付）は含まれない。
- 3 市町村に住所を有する者が 65 歳に達すること、または医療保険に加入しているものが 40 歳に達することを保険事故とする。
- 4 介護保険料は介護保険の給付に使われるので、給付と負担の対応関係が明確である。
- 5 強制適用のため、いわゆる逆選択を防止することはできない。

問題 3 市町村の介護保険関連業務について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 毎年度、年金保険者に対し、年金支払額が一定額（政令で定める基準）以上の者の一覧を送付する。
- 2 第1号被保険者の保険料に関する普通徴収の納期を条例で定める。
- 3 介護保険審査会の委員の定数を条例で定める。
- 4 財政安定化基金を設置する。
- 5 種類支給限度基準額を条例で設定する。

問題 4 介護保険の被保険者資格について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 当該市町村の区域内に住所を有する医療保険加入者が65歳に達したときは、届け出によって介護保険の被保険者資格を取得する。
- 2 適用除外施設を退所した場合、退所した日から資格を取得する。
- 3 地域密着型特定施設入居者生活介護事業者は住所地特例対象施設ではない。
- 4 特例被保険者（住所地特例が適用される被保険者）でなくなったことによる資格取得の場合、保険者が変わらないため届け出の必要はない。
- 5 第2号被保険者は、被保険者資格の喪失に関する事項を市町村に届け出なければならない。

問題 5 介護保険財政について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 施設等給付（介護保険施設，特定施設入居者生活介護，介護予防特定施設入居者生活介護にかかる給付）についての50%の公費負担の内訳は，国25%，都道府県12.5%，市町村12.5%となっている。
- 2 市町村における75歳以上の後期高齢者の加入割合が高いほど，普通調整交付金の割合は高くなる。
- 3 第1号被保険者と第2号被保険者の1人当たりの平均的な保険料は同じ水準になるように設定されている。
- 4 介護保険事業にかかる事務に要する費用については，国がその2分の1相当額について交付金を交付する。
- 5 市町村特別給付に要する費用については，その市町村の第2号被保険者の保険料により賄われる。

問題 6 介護保険の保険料について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 個々の第1号被保険者の具体的な保険料率は，原則6段階の所得段階別定額保険料となっている。
- 2 第1号被保険者が年額18万円以上の公的な老齢年金（または退職年金），遺族年金，障害年金を受給している場合には，市町村が直接，納入通知書を送付し保険料の納付を求め徴収する。
- 3 普通徴収の方法による介護保険料は，市町村と委託契約を結んだコンビニエンスストア等で支払いができる。
- 4 第2号被保険者にかかる保険料は，社会保険診療報酬支払基金から各市町村に対して，当該市町村における第2号被保険者の人数割合に応じて交付される。
- 5 第2号被保険者が医療保険料を滞納している場合であっても，市町村は，介護保険の保険給付の全部または一部につき支払いの一時差止をすることができない。

問題 7 他法との給付調整について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 労働災害補償保険法によって一定の介護保険の給付に相当する給付が受けられるときは、介護保険の給付が優先し、労働災害保険法の給付は一定の限度で行われない。
- 2 原爆被爆者援護法の医療の給付では、介護保険の給付対象となる医療系サービスを受けた場合でも公費負担が行われ、その給付額は給付管理票に位置付けられない。
- 3 在宅患者に対する歯科訪問診療料は介護保険から給付される。
- 4 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（結核患者の医療）の適用を受ける患者が医療機関において短期入所療養介護を受けた場合、介護保険給付90%が優先し、結果的な公費負担は5%となる。
- 5 障害者自立支援法の自立支援給付と介護保険法による給付とで共通する在宅サービスは、原則として障害者施策として提供される。

問題 8 支給限度基準額について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 居宅サービス等区分に属するサービスのうち、訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、福祉用具貸与については特別地域加算が認められ、これらの特別地域加算は支給限度額の算定に含まれない。
- 2 期間を定めて行われる認知症対応型共同生活介護は、居宅サービス等区分に属するサービスである。
- 3 介護保険施設の利用者は、要介護度別に設定された施設介護サービス支給限度基準額の範囲内で施設サービスを受ける。
- 4 市町村は、条例で定めるところにより、厚生労働大臣が定める区分支給限度基準額、福祉用具購入費支給限度基準額、住宅改修費支給限度基準額を上回る額を当該市町村における支給限度基準額とすることができる。
- 5 福祉用具購入または住宅改修を行った月には、居宅サービス等区分支給限度基準額が低い水準になる。

問題 9 介護保険制度におけるケアマネジメントについて正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 ケアマネジメントの過程は、①課題分析、②ケアプランの作成、③各種サービス事業者等との調整・仲介、④モニタリング・サービスの評価の段階の各過程、およびその循環から成っている。
- 2 介護予防支援には、介護予防事業の二次予防事業対象者（特定高齢者）に対する介護予防ケアマネジメントも含まれる。
- 3 地域支援事業の介護予防事業として行われる一次予防事業では、特定のケアマネジメント機関は想定されていない。
- 4 要介護者に対するケアマネジメント機関は、制度上、居宅介護支援事業者のみである。
- 5 居宅サービス計画は、その原案についてサービス担当者会議を経て修正した時点で完成する。

問題 10 指定地域密着型サービス事業所について適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 指定地域密着型サービス事業者は、利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努めなければならない。
- 2 指定地域密着型サービス事業者は、指定地域密着型サービス事業の運営に当たって、常に都道府県との連携を密にする必要がある。
- 3 居宅介護支援が利用者に対して行われていない等の場合であって必要と認めるときは、要介護認定の更新の申請が、遅くとも当該利用者が受けている要介護認定の有効期間が終了する30日前にはなされるよう、必要な援助を行わなければならない。
- 4 指定地域密着型サービスは、原則として償還払いの方式によってサービスを提供する。
- 5 指定地域密着型サービス事業者は、指定地域密着型サービスの提供の開始に際し、利用者の提示する被保険者証によって、被保険者資格、要介護認定の有無および要介護認定の有効期間を確かめなければならない。

問題 11 介護サービス情報の公表について適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 市町村は、介護サービス情報の報告の調査について、調査事務を市町村ごとに指定する指定調査機関に行わせることができる。
- 2 介護サービス情報の報告についての調査は、公正かつ全国的に一定の基準で行われる必要があるため、介護保険法で詳細が規定されている。
- 3 指定調査機関の調査員は、一定の研修を終えて、都道府県知事が作成する調査員名簿に登録されている必要がある。
- 4 介護サービス情報の情報公表事務の全部または一部は、指定情報公表センターが担当することができる。
- 5 情報公表事務にかかる手数料は、市町村から指定情報公表センターが徴収することができる。

問題 12 指定居宅サービス事業者について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 指定居宅サービス事業者の指定は、居宅サービス事業者の申請に基づき、居宅サービスの種類ごと、かつ居宅サービス事業を行う個々の事業所ごとに行われる。
- 2 保険医療機関の指定を受けている病院・診療所は、指定申請を行うことなく通所リハビリテーションの指定居宅サービス事業を行うことができる。
- 3 都道府県知事は訪問介護に係る指定をしようとするときは、関係市町村長の意見を求めなければならない。
- 4 特定施設入居者生活介護にかかる居宅サービス事業者の指定をしようとするとき、都道府県知事は関係市町村長の意見を求めなければならない。
- 5 指定は5年ごとにその更新を受けなければ、期間が経過すると効力を失う。

問題 13 要介護認定の申請から認定にいたる流れについて適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 認定は、原則として申請日から30日以内に行われるが、特別の理由がある場合には延期されることがある。
- 2 認定申請を行った被保険者に主治医がいない場合で市町村の指定する医師の診察に応じない場合、市町村は申請を却下することができる。
- 3 認定結果については、被保険者と居宅介護支援事業者の双方に通知される。
- 4 要介護認定を受けている被保険者が他市町村に転居した場合は、新規申請の扱いとなり、あらためて転居先の市町村で認定調査や審査判定を受ける必要がある。
- 5 被保険者の身体状況などを考慮し、緊急やむを得ない場合は、審査判定を除いて市町村による認定が行われる。

問題 14 要介護認定・要支援認定について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 一次判定では5つの分野についてそれぞれ算出された要介護認定等基準時間を合計したものによって、要介護状態区分が判定される。
- 2 一次判定において要介護認定等基準時間が32分以上50分未満と判定された者のうち、改善の可能性が低く予防給付の適切な利用が見込まれない状態の者は、二次判定において要支援2と判定される。
- 3 「末期がん」が特定疾病として認められるためには、6ヵ月にわたってその病状が継続すると見込まれることが必要である。
- 4 進行性核上性麻痺は特定疾病に含まれる。
- 5 市町村は、新規認定にかかる調査については自ら実施しなければならないが、指定市町村事務受託法人に新規認定にかかる調査を委託することはできない。

問題 15 指定居宅サービス事業者について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 サービス提供の開始にあたっては、被保険者証で被保険者資格、要介護認定等の有無、有効期間を確認しなければならない。
- 2 福祉用具貸与事業者は、福祉用具貸与に関する個別サービス計画を作成し、その計画を利用者に交付しなければならない。
- 3 利用申込者が、要介護認定等を受けておらず、申請も行われていない場合には、速やかに申請の代行を行わなければならない。
- 4 利用申込者の要介護度が重く、事業所では対応できない場合は、サービスの提供を拒否する正当な理由となる。
- 5 短期入所生活介護、短期入所療養介護において入所者などに対して緊急やむを得ず身体的拘束を行う場合には、その態様、時間、入所者の心身の状況やその理由を記録しなければならない。

問題 16 介護報酬について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 現にサービスの提供に要した費用の額が、介護報酬の基準額を下回るときであっても、事業者・施設は介護報酬として設定された額まで請求することができる。
- 2 居宅療養管理指導、居宅介護支援、福祉用具貸与については、1単位の単価に地域差が設定されていない。
- 3 居宅介護支援にも15%の特別地域加算が認められる。
- 4 介護報酬の請求は、サービス提供月ごとに翌月の10日までにを行うのが原則である。
- 5 居宅サービス事業者が、事業所の所在する都道府県と異なる都道府県においてサービスを提供した場合には、利用者の住所地である都道府県の国民健康保険団体連合会に介護報酬を請求する。

問題 17 指定介護予防支援事業者について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 指定介護予防支援事業者は、事業所ごとに1人以上の指定介護予防支援の提供にあたる常勤の介護支援専門員を配置しなければならない。
- 2 介護予防サービス計画の作成に当たり、介護予防短期入所生活介護および介護予防短期入所療養介護を利用する日数について配慮する必要はない。
- 3 指定介護予防支援事業所の担当職員は、指定介護予防サービス事業者等に対して、介護予防サービス計画に基づく個別援助計画の作成を指導するとともに、サービスの提供状況や利用者の状態等に関する報告を少なくとも1ヵ月に1回、聴取しなければならない。
- 4 モニタリングは、少なくとも3ヵ月に1回は利用者の居宅を訪問し利用者に面接して行わなければならない。
- 5 介護予防支援における介護予防サービス計画を作成することができるのは、地域包括支援センターの職員のうち、保健師に限られる。

問題 18 介護予防のための効果的な支援の方法について適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 指定介護予防支援は、利用者の介護予防に資するよう行われるため、福祉サービスとの連携は必要であるが、医療サービスとの連携の必要性は薄い。
- 2 指定介護予防支援事業者は、介護予防の効果を最大限発揮し、利用者の障害の克服を最大の目的として適切なサービスを選択できるよう援助する。
- 3 指定介護予防支援事業者は、指定介護予防支援の質の評価を行い、常に改善を図らなければならない。
- 4 介護予防サービス・支援計画書は、予防的な内容で個人差が大きいため標準化された様式はない。
- 5 介護予防サービス計画の作成に当たっては、利用者の自立した日常生活の支援を効果的に行うため、利用者の心身又は家族の状況を把握する必要がある。

問題 19 地域支援事業について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 要支援者を対象とした、要介護状態になることの予防または要介護状態になった場合の軽減や悪化防止のために必要な事業のことを介護予防事業という。
- 2 支援困難事例に関するケアマネジャーへの助言、地域のケアマネジャーのネットワークづくりなどの事業を総合相談・支援事業という。
- 3 介護方法の指導など、要介護者を介護する人を支援するための事業は包括的支援事業として行われる。
- 4 被保険者のコスト意識を喚起する事業など介護給付および予防給付にかかる費用の適正化を図る事業は、介護給付等費用適正化事業と呼ばれ、任意事業として行われる。
- 5 市町村が老人介護支援センターの設置者その他の厚生労働省令で定める者に対し包括的支援事業の実施を委託する場合、包括的支援事業全体を一括して委託しなければならない。

問題 20 指定居宅介護支援事業者の運営等の基準について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 事業所の管理者は介護支援専門員でなければならない。
- 2 介護支援専門員は5年ごとに更新研修を受講しなければならない。
- 3 利用者が自ら居宅サービス計画を作成した場合には、居宅介護支援事業者はその給付管業務を担当しなければならない。
- 4 要介護認定を受けている利用者が、要支援認定を受けた場合、利用者に対し、直近の居宅サービス計画及びその実施状況に関する書類を交付しなければならない。
- 5 利用者に対する指定居宅サービス事業者等との連絡調整に関する記録等の記録を整備し、居宅介護支援の開始の日から2年間保存しなければならない。

問題 21 居宅介護支援の介護報酬について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 居宅介護支援費は、介護支援専門員1人当たりの担当件数が40件未満、40件以上60件未満、60件以上の3段階で異なる設定がなされている。
- 2 介護予防支援の委託を受ける場合、要支援者2人で要介護者1人とカウントする。
- 3 介護予防支援の委託を受ける場合、介護支援専門員1人当たり10人が上限である。
- 4 30日を超える入院・入所後に病院・施設等と連携してケアプランを作成した場合には、初回加算を算定することができる。
- 5 前6ヵ月間で、居宅サービス計画に位置付けた「訪問介護」「通所介護」「福祉用具貸与」のそれぞれについて、特定の事業所の占める割合が90%以上の場合には、特定事業所加算を算定することができる。

問題 22 介護支援専門員の基本姿勢として適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 常に、利用者や家族の主体性を尊重する。
- 2 要介護者等とその家族の意見・利害が対立した場合には、要介護者等の意思を優先する。
- 3 利用者が地域のサービスをニーズの内容や量に応じて適正に利用できるよう支援する。
- 4 要介護者等の個人情報の開示は、家族の同意を得られれば本人の同意を得る必要はない。
- 5 利用者が人権を侵害されることなく生活できるように配慮する。

問題 23 施設介護支援について適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 課題分析を実施する際、課題分析標準項目に準拠した、施設独自のアセスメント票を使用できる。
- 2 総合的な援助の方針は、利用者と介護支援専門員の両方で相談して記載する。
- 3 介護支援専門員が施設サービス計画を作成した際には、その施設サービス計画を入所者に交付しなければならない。
- 4 施設サービス計画に含まれる週間サービス計画表と日課計画表は、廊下や食堂等の、入所者や入院患者全員が見やすい場所に掲示しなければならない。
- 5 施設サービス計画は、完結の日から5年間保存しなければならない。

問題 24 Aさん（75歳女性）はアルツハイマー病と診断されている。最近、汚れた下着を丸めて押し入れに隠したり、近所を無目的に徘徊しては連れ戻されたりということが頻繁に起こるようになった。Aさんの面倒をみていた夫は、一緒に在宅生活を続けることを望んでいるが、高齢のため介護を続けていくことに不安と疲労を感じ、昨日市役所に要介護認定を申請した。居宅介護支援の依頼を受けた介護支援専門員の対応として適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 夫に対し、居宅介護支援事業者の運営規定やサービス選択に関する重要事項を口頭で説明し、居宅介護支援の提供の開始について同意を得た。
- 2 暫定居宅サービス計画の作成により、サービスを現物給付で受けることが可能なことを説明した。
- 3 認知症徘徊検知機器を購入するように勧めた。
- 4 近所に「認知症友の会」という家族会があることを夫に説明し、他の家族と交流することを夫に勧めた。
- 5 夫はAさんが認知症であることを他人に知られたくないと語ったので、近隣には秘密にしておくようにとアドバイスした。

問題 25 Aさん（78歳）は要介護2で、認知症の症状があり、息子のアパートで生活している。最近、息子がAさんを大声で怒鳴りつける声が頻繁に聞こえるようになった。また、訪問介護員から、息子がAさんのオムツ交換を行わず、褥瘡ができていたとの訴えがあった。息子に確認したところ、家庭内の問題なので介入しないよう求められた。介護支援専門員に望まれる対応として、より適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 独力で解決することが困難なケースであると認められる場合には、地域の関係機関の専門職とのチームアプローチを検討する。
- 2 虐待が疑われる状況ではあるが、息子の求めに応じ、自分がかかわるべきではないと考え、それ以上立ち入らないようにする。
- 3 Aさんが身体的暴力による虐待を受けているとは思えないので、今後、深刻な事態が起こればすぐに対応できるよう心がける。
- 4 Aさんが息子から虐待を受けている可能性があるため、Aさんにかかわる他のサービス事業者等と情報交換等を行い、事実確認に努める。
- 5 息子の虐待によりAさんに生命の危険が認められるときは、専門機関に対し介入を要請する。

保健医療サービス分野の知識等

問題 26 ～ 問題 45

- 1 以下の「法定資格取得者」は、問題 26～問題 45 の解答を要しない。

医師， 歯科医師

- 2 以下の「法定資格取得者」は、問題 26～問題 40 の解答を要せず、問題 41～問題 45 の解答を要する。

薬剤師， 保健師， 助産師， 看護師， 准看護師， 理学療法士， 作業療法士， 視能訓練士， 義肢装具士， 歯科衛生士， 言語聴覚士， あん摩マッサージ指圧師， はり師， きゅう師， 柔道整復師， 栄養士（管理栄養士）

問題 26 健康増進や疾病の予防について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 健康診断等により疾病を早期発見し、早期治療につなげることを一次予防という。
- 2 わが国では、感染症等の急性疾患による死亡が減少する一方で、生活習慣に起因する疾患による死亡が増加するという疾病構造の変化がみられる。
- 3 近年、胃がんは死亡率・罹患率が男女とも増加が著しい。
- 4 ヒト・パピローマ・ウイルスの感染は、子宮頸がんの原因として注目されている。
- 5 ヒップ・プロテクタは、腰椎を中心とした骨折予防に効果がある。

問題 27 高齢者に多い疾患について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 慢性閉塞性肺疾患（COPD）の原因の最も重要なのは喫煙であり、禁煙指導が重要となる。
- 2 薬物療法を行っている糖尿病の高齢者の場合は、低血糖に特に注意をする必要がある。
- 3 悪性腫瘍の末期において疼痛緩和を行う場合、麻薬性鎮痛薬は頓用とし、麻薬使用量をできるだけ少なくするのが望ましい。
- 4 骨粗鬆症が基礎となった大腿骨頸部骨折の場合、高齢者では原則として手術を行わず、保存療法を行う。
- 5 一般に、高齢者の慢性肝炎では低蛋白、低塩、高カロリー食となるように食事指導する。

問題 28 栄養管理について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 エネルギー欠乏症では、BMIが18.5以下、あるいは通常時の体重に比べて減少率が6ヵ月に5%以上の場合を治療対象とする。
- 2 糖尿病では、3大栄養素のバランスを考えた食事内容とすることが大切であり、とくに糖質はエネルギー比で40%以下に抑えることが必要である。
- 3 高血圧では、ナトリウムおよびカリウムの摂取量を制限することが必要である。
- 4 食生活で重要なことは、健康によいとされる特定の食品をたくさん食べることである。
- 5 エネルギー欠乏症では、味は濃いめにし、香辛料や香りの強い香草類を利用して食欲を増進させる。

問題 29 リハビリテーションについて正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 関節可動域訓練では、できるかぎり他動的訓練を中心に行う。
- 2 筋力増強運動は誤用症候群を起こしやすいので、方法の選択やリスクチェックについては専門家と十分に協議することが欠かせない。
- 3 要介護度が重い場合には、廃用症候群の予防のため、座位の保持と離床を基本としたリハビリテーションを検討する。
- 4 良肢位（関節が仮にその位置で動かなくなっても日常生活動作に及ぼす障害が最も少ない肢位）を保っても、同じ姿勢を長時間続けると、拘縮や褥瘡につながる。
- 5 片麻痺がある人が乗用車に乗車するときは、患側から乗車するようにする。

問題 30 感染症への対応について適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 足爪白癬に感染している者に対しては、抗真菌薬の内服療法が有効である。
- 2 ノロウイルス感染症の場合、下痢などの症状がなくなっても、便からのウイルスの排出が続く。
- 3 帯状疱疹は生涯に一度だけ罹患する疾患であり、再発することはない。
- 4 MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）に感染している者は、施設サービスを利用できない。
- 5 集団生活の場で結核の集団発生を予防するためには、定期的な胸部レントゲン検査によって結核感染者を早期発見することが有効である。

問題 31 神経疾患について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 ピック病は人格障害が目立つ特徴的な症状を呈する進行性の認知症で、介護保険の特定疾病になっている。
- 2 筋萎縮性側索硬化症では、眼球運動や肛門括約筋の機能は末期までよく保たれる。
- 3 シャイ・ドレーガー症候群では、小脳性の運動失調はみられない。
- 4 ギラン・バレー症候群は、異常なプリオン蛋白が脳に蓄積して神経細胞が変性する疾患で、認知症や運動失調を特徴とする。
- 5 パーキンソン病の4大症状として、振戦（身体のふるえ）、固縮（筋の硬さ）、無動（動作の遅さ、拙劣）、姿勢・歩行障害があげられる。

問題 32 精神障害への対応について適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 老年期うつ病の症状として、うつ気分に加え行動の抑制が現れる場合には、身の回りのことなるべく1人で行うよう励ますことにより、病状の回復を図る。
- 2 せん妄状態のときには、不安感を与えないように穏やかに声をかける。
- 3 統合失調症においては、老年期に精神症状が悪化するが多い。
- 4 心気症の高齢者が身体症状をしつこく訴える場合には、気にしないように説得的な態度で応じる。
- 5 老年期パーソナリティ障害の高齢者は、多くの場合、若年期から軽度の性格の偏りが認められる。

問題 33 口腔ケアについて適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 食べ物をよく噛むことは、脳への刺激となり、認知症を予防する効果がある。
- 2 歯みがきのおもな目的は、歯石を取り除くことである。
- 3 口腔細菌の減少効果は、歯ブラシによるブラッシングよりも消毒・殺菌作用のある洗口剤のほうが高い。
- 4 歯周病の原因は、歯と歯肉の間の歯周ポケットについたバクテリアによる感染であることが多い。
- 5 脳血管障害の後遺症による麻痺がある場合、食べかすは麻痺のない側の頬の内側にたまりやすい。

問題 34 薬剤管理について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 一般に、肝機能や腎機能が低下している場合には、薬剤の効果が減弱することが多い。
- 2 嚥下が困難で錠剤の薬を飲み込みにくい場合は、すべてつぶして与えるようにするとよい。
- 3 薬剤管理指導の目的のひとつに、利用者の服薬コンプライアンスの向上を図ることがあげられる。
- 4 唾液分泌抑制作用のある薬剤を服用している場合は、口腔ケアにも配慮する必要がある。
- 5 処方された薬は、体調や生活のリズムに変化があった場合でも指示されたとおりきちんと服用するべきである。

問題 35 医療器具を装着している利用者について適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 鼻腔からの経管栄養法では、利用者を臥位にして経管栄養液を注入する。
- 2 中心静脈栄養療法では、3大栄養素のうち脂質を補給することはできない。
- 3 膀胱留置カテーテルを挿入している場合には、できるだけ水分摂取を多くするよう心がける。
- 4 気管カニューレを装着する利用者に対する気管内吸引は、無菌操作で行う。
- 5 在宅酸素療法を行っている利用者は、酸素供給器を携帯することができないため、遠方への旅行は控えるべきである。

問題 36 訪問リハビリテーション, 介護予防訪問リハビリテーションについて正しいものはどれか。

2つ選べ。

- 1 介護保険法における訪問リハビリテーションの利用料は、医療費控除の対象とはならない。
- 2 炊事, 掃除, 洗濯などの IADL の維持改善は、訪問リハビリテーションの目的に含まれない。
- 3 訪問リハビリテーションの介護報酬は 1 回につき設定され、介護予防訪問リハビリテーションの介護報酬は月を単位とした定額制として設定されている。
- 4 短期入所生活介護を受けている要介護者には、訪問リハビリテーション費を算定することはできない。
- 5 訪問リハビリテーションの介護報酬は、理学療法士, 作業療法士, 言語聴覚士とも同じ額に設定されている。

問題 37 通所リハビリテーション, 介護予防通所リハビリテーションについて正しいものはどれか。

2つ選べ。

- 1 通所リハビリテーション, 介護予防通所リハビリテーションの介護報酬の設定は、要介護状態区分, 要支援状態区分ごとに異なる。
- 2 通所リハビリテーション, 介護予防通所リハビリテーションの介護報酬は、ともに 1 回の利用ごとの単位数という形で設定されている。
- 3 入浴介助に関する加算は、通所リハビリテーションにおいて算定することができるが、介護予防通所リハビリテーションでは算定することができない。
- 4 1 名以上の栄養士が配置され、利用者ごとの栄養ケア計画に従い栄養改善サービスが実施されている場合には、栄養改善加算を算定することができる。
- 5 事業所の定めた所要時間を超えてサービスを提供した場合は、延長加算を算定することができる。

問題 38 訪問看護について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 利用者あるいはその家族からの看護に関する相談に対して、1日24時間常時対応する体制を整備し、必要に応じて緊急時訪問を行う場合は、介護報酬上の加算が行われる。
- 2 訪問看護計画を作成するのは、訪問看護事業所の介護支援専門員である。
- 3 訪問看護の実施前に立てた訪問看護計画が、訪問時の病状観察や情報収集によって、変更されるようなことがあってはならない。
- 4 末期のがん患者に対する訪問看護は介護保険の給付対象となる。
- 5 訪問看護師は、実施した訪問看護の結果について、医師に報告することを義務づけられている。

問題 39 介護老人保健施設について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 介護老人保健施設は、サービス提供に際し、あらかじめ入所者・その家族に対し、運営規定やサービス内容等について説明し、同意を得なければならない。
- 2 介護老人保健施設は、サービス利用者を増やすために、パンフレット等を利用してさまざまな内容を含めた広告宣伝を行うことができる。
- 3 介護老人保健施設が短期入所療養介護を行う場合には、指定短期入所療養介護事業者としての指定をあらためて受ける必要がある。
- 4 介護老人保健施設の医師は、入所者の家族の同意があれば、厚生労働大臣が定める医薬品以外の医薬品を施用し、または処方することができる。
- 5 介護老人保健施設は、入所者の病状に照らして施設内でのサービス提供が困難な場合は、適切な医療機関を紹介しなければならない。

問題 40 指定介護療養型医療施設について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 入院継続の必要性については、入院患者の心身の状況等から3ヵ月ごとに検討することとされている。
- 2 老人性認知症疾患療養病棟には精神保健福祉士、またはこれに準ずる者をおかなければならない。
- 3 介護療養型医療施設で行われるリハビリテーションの種類は、急性期リハビリテーションの一部と、維持期リハビリテーションが中心である。
- 4 計画担当介護支援専門員は、定期的に入院患者に面接しなければならない。
- 5 施設は、入院申込者の心身の状況や病歴等を勘案し、入院治療の必要性がないと認められた場合には、入院を拒否することができる。

問題 41 検査値について適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 CRPは低栄養の指標となる。
- 2 うっ血性心不全、ネフローゼなどでは、体重増加がよくみられる。
- 3 尿素窒素（BUN）、血清クレアチニン（Cr）の低下は、腎機能低下の指標となる。
- 4 血液学的検査のうち血小板数は、高齢者の場合、増加傾向を示す。
- 5 肝障害の際には血清 GOT（AST）や GPT（ALT）が上昇するが、血清 GOT（AST）や GPT（ALT）には加齢による変動はないとされている。

問題 42 急変時の対応について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 日ごろから、家族や介護者と話し合い、急変時の連絡方法を決めておくことが求められる。
- 2 心肺蘇生術は必ず2名以上で実施しなければならない。
- 3 高齢者の急変時には、意識レベルの評価とバイタルサインの測定とともに、全身状態の観察も重要である。
- 4 心停止が疑われる場合、救急処置よりも診断の確定が優先する。
- 5 下顎呼吸は生命予後が不良であることを示す兆候である。

問題 43 介護保険の給付対象となる居宅療養管理指導，介護予防居宅療養管理指導はどれか。2つ選べ。

- 1 嚥下困難のため流動食を摂取している者に，医師の指示に基づき，管理栄養士が訪問して栄養指導を行った。
- 2 医師が，褥瘡のある利用者の居宅を訪問し，訪問介護事業者に対し介護方法についての情報提供を行った。
- 3 医師が，潰瘍性大腸炎にかかっている利用者に対し居宅でブドウ糖輸液の点滴を行った。
- 4 ユニット型介護老人福祉施設に入所中の者に対して，施設の嘱託医が認知症の進行状況の確認や薬剤の副作用のチェックを行い，職員に介護上の助言を行った。
- 5 義歯が合わず咀嚼がうまくできない利用者に対し，歯科医師が訪問して義歯の調整を行った。

問題 44 認知症高齢者について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 アルツハイマー病では多様な問題行動のため，介護者の心身の負担は寝たきり老人などに比べて大きいといわれている。
- 2 認知症性高齢者の失禁には溢流性尿失禁が多い。
- 3 デイケアやデイサービスなどの通所系サービスを利用することは，在宅認知症高齢者とその家族にとって重要なものといえる。
- 4 知的能力が低下しても，音楽能力は最後まで保存されるといわれている。
- 5 せん妄は必ず認知症を背景として生じる症状である。

問題 45 医学的診断・治療内容・予後について適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 診療の過程の効率化と標準化の目的で、クリニカルパスが導入され、入院期間の短縮に役立っている。
- 2 ナラティブ・ベイスト・メディシン（NBM）とは、「根拠」や「証拠」に基づく医療であり、論文やデータをもとに適正な方法で医療を行うことをいう。
- 3 治療には薬物療法、運動療法、食事療法、手術療法、代替療法などさまざまな治療があり、患者の病態に応じて、これらの治療法を1つずつ順番に試みる。
- 4 患者へ十分な情報を提供し、可能な治療法の選択肢のなかから患者自らの責任で治療法を選択することをインフォームドコンセントという。
- 5 予後の判断とは、病気の将来を経験と知識に基づいて予測することである。

福祉サービスの知識等

問題 46 ～ 問題 60

以下の「法定資格取得者」は、問題 46～問題 60 の解答を要しない。

社会福祉士，介護福祉士，精神保健福祉士

問題 46 生活機能と障害について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 ケアを必要とする利用者については、マイナス面だけに注目するのではなく、それを上回るプラス面を見つけ出すことが大切である。
- 2 心身機能レベルの手足の麻痺が回復しなければ、歩くことはできず、それを解決するためには、麻痺を治すしかない。
- 3 下肢の筋力の低下のため、車椅子とトイレの間の移動が困難になった場合には、下肢の筋力を増強することが最優先となる。
- 4 整容、更衣、家事などの活動について片手ででもできるようになるためには、活動レベルへの働きかけが必要である。
- 5 国際生活機能分類（ICF）における生活機能の3つのレベルには相互依存性と相対的独立性とがある。

問題 47 相談援助技術について適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 「専門的援助関係の原理」は、利用者や家族のニーズに受容的、非審判的、共感的な理解を示しつつ、しかも現実との接触面を保持しつつ、必要な場合には専門的な立場から介入して利用者の安全を守ることを意味する。
- 2 相談援助を行う際には、非言語的手段を用いてはならない。
- 3 「個別化の原則」とは、利用者のニーズや生活状況に応じて、個別的に対応し、相談にのることである。
- 4 「傾聴」とは、クライアントの意見を受動的に聞き、自由に意見を表明できたことに満足感を味わわせることである。
- 5 相談を受ける際は、クライアントの問題を家族や社会環境と切り離して考える。

問題 48 生活不活発病（廃用症候群）について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 生活不活発病は、ある特定の疾病や重度な運動障害とのみ関連して生じる。
- 2 生活不活発病では「高齢だから仕方がない」と考えることにより、高齢者の精神の安定を図る。
- 3 心肺機能低下は、生活不活発病の初期症状の1つである「疲れやすさ」の主な原因である。
- 4 生活不活発病の最初の兆候は、関節拘縮や褥創のような個別的な心身機能の低下として現れる。
- 5 生活機能低下の悪循環とは、心身機能・活動・参加の生活機能の3つのレベルが相互に関連し合っ
てさらに状態が悪化するということである。

問題 49 社会資源の活用について適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 家族等のインフォーマルな社会資源は、専門性が低い
が情緒面に寄与する側面がある。
- 2 インフォーマルな分野の社会資源により、要介護者の最低限の生活が保障されなければならない。
い。
- 3 介護保険の介護支援サービスは、フォーマルなサービスを総合的、一体的に提供することである。
- 4 フォーマルなサービスとは非営利のサービスのことをいう。
- 5 フォーマルな社会資源とインフォーマルな社会資源を連続したものにするために、フォーマルな側での調整的な役割が求められる。

問題 50 介護支援専門員が訪問介護を居宅サービス計画に位置付ける際の考え方について適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 歩行に支障がみられたので、移動の介助を訪問介護で行うとともに、歩行補助つえの福祉用具貸与を組み合わせることで、利用者ができるだけ自立して移動できるよう配慮した。
- 2 利用者が今まで日課としていた息子の部屋の掃除を、利用者に代わって訪問介護で行うことにした。
- 3 寝たきり状態で褥瘡があったため、医師の指示の下、その処置を訪問介護で行うことにした。
- 4 外出が困難になった利用者から、今までどおり近所へ買い物に行きたいとの希望があったので、外出時の車椅子での介助を訪問介護で行うことにした。
- 5 まれに失禁が見られたが、利用者の希望もあり、おむつを使用するのではなく、排泄の周期を把握した上で、それに合わせた排泄の介助を訪問介護で行うことにした。

問題 51 訪問入浴介護について適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 入浴中に病状が急変した場合には、速やかに利用者を担当する介護支援専門員へ連絡をとり、その指示を受けなければならない。
- 2 訪問入浴の利用者は症状が不安定な人が多いため、サービス提供に際しては安全に注意して行わなければならない。
- 3 危険性が高いため、終末期には訪問入浴介護は利用することができない。
- 4 利用者が胃ろうによる経管栄養を受けている場合には、訪問入浴介護を利用することができない。
- 5 訪問入浴介護事業者は、利用者の選定により提供される特別な浴槽水等に係る費用の支払を利用者から受けることができる。

問題 52 通所介護について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 基準該当サービスを実施する事業者にも法人格が必要である。
- 2 提供時間帯を通じて1人以上の生活相談員を配置しなければならない。
- 3 食費、おむつ代、日常生活費は原則として全額利用者が負担する。
- 4 1時間以上2時間未満のサービス提供を行った場合にも介護報酬を算定できる。
- 5 口腔機能向上加算の対象となる口腔機能向上サービスにおいては、利用者ごとに口腔機能改善管理指導計画を作成しなければならない。

問題 53 夜間対応型訪問介護について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 サービスの提供に必要な設備及び備品のうち、特に手指を洗浄するための設備等感染症予防に必要な設備等に配慮する。
- 2 利用者から合鍵を預かる場合は厳重な管理を行い、管理方法、紛失した場合の対処方法等を記載した文書を利用者に交付する。
- 3 夜間対応型訪問介護計画は管理者が作成し、利用者に交付する。
- 4 夜間対応型訪問介護事業者は、定期巡回サービスを他の指定訪問介護事業所に委託することができる。
- 5 夜間対応型訪問介護事業者は、運営推進会議を設置し、おおむね2月に1回以上、運営推進会議に対し活動状況を報告し、運営推進会議による評価を受けるとともに、運営推進会議から必要な要望、助言等を聴く機会を設けなければならない。

問題 54 認知症対応型共同生活介護について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 認知症対応型共同生活介護計画は、居宅サービス計画の内容に沿って作成される。
- 2 共同生活住居の管理者は、認知症高齢者への介護の提供について知識及び経験のない者でも、一定の研修を受ければ就任することができる。
- 3 利用者がそれぞれの役割を持って家庭的な環境の下で日常生活を送ることができるよう、配慮しなければならない。
- 4 食事の用意等を利用者と従業者が共同作業として行う際には、従業者は、利用者の身についている「手続き記憶」を活用できるように配慮する。
- 5 認知症対応型共同生活介護を利用している期間中であっても、他の居宅サービスを利用者負担で利用することができる。

問題 55 外部サービス利用型指定特定施設入居者生活介護について正しいものはどれか。3つ選べ。

- 1 外部サービス利用型指定特定施設入居者生活介護事業所の計画作成担当者は介護支援専門員でなくてもよい。
- 2 事業者が、受託居宅サービスの提供に関する業務を委託する契約を締結するときは、受託居宅サービス事業所ごとに文書により行わなければならない。
- 3 指定福祉用具貸与事業者は、受託居宅サービスになることができない。
- 4 指定認知症対応型通所介護事業者は、受託居宅サービスになることができる。
- 5 事業者は、受託居宅サービスに係る業務の実施状況について定期的に確認し、その結果等を記録しなければならない。

問題 56 介護保険の住宅改修について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 要介護状態区分によって異なる支給限度基準額が設定されている。
- 2 アコーディオンカーテンを開き戸に取り替える工事は住宅改修費の支給対象となる。
- 3 利用者または家族の持ち家の住宅改修を行った場合は給付されるが、借家の場合は給付されない。
- 4 住宅改修費の支給申請の際には、事前に、改修が必要となる理由を記した理由書を市町村に提出する。
- 5 介護予防住宅改修費の制度利用の相談窓口は地域包括支援センターである。

問題 57 ユニット型指定介護老人福祉施設について正しいものはどれか。2つ選べ。

- 1 入居者一人ひとりの意思及び人格を尊重し、施設サービス計画に基づき、居宅の生活への復帰を念頭に置いて、入居前の居宅における生活と入居後の生活が連続したものとなるよう配慮しながら支援しなければならない。
- 2 昼間については、ユニットごとに常時1人以上の介護職員又は看護職員を配置する。
- 3 夜間及び深夜については、3ユニットごとに1人以上の介護職員又は看護職員を夜間及び深夜の勤務に従事する職員として配置する。
- 4 2ユニットごとに、常勤のユニットリーダーを配置しなければならない。
- 5 ユニット型指定介護老人福祉施設は、入居者に対する指定介護福祉施設サービスの提供に直接影響を及ぼさない業務についても、当該ユニット型指定介護老人福祉施設の従業者によって指定介護福祉施設サービスを提供しなければならない。

問題 58 生活保護制度について適切なものはどれか。2つ選べ。

- 1 補足性の原理により，生活保護法が適用されるのは，他制度が適用された後である。
- 2 保護の要件を満たすものは申請を待たずに生活保護の被保護者となる。
- 3 入院患者の日用品費，介護保険の保険料，介護施設入所者の基本生活費は生活扶助として支給される。
- 4 医療保険未加入の40歳以上65歳未満の者が要介護または要支援状態となった場合には介護扶助で介護サービスを受けることができるが，このときには特定疾病に該当することを要しない。
- 5 介護扶助により住宅改修や福祉用具購入を行う場合，その給付は償還払いの方法により行われる。

問題 59 高齢者虐待防止法について適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 虐待が疑われた時点で介護支援専門員が，市役所等の公的機関に相談することは適切である。
- 2 虐待を受けている高齢者を発見した場合，都道府県知事は重大な危険が生じているおそれがあると認められる高齢者を一時的に保護するため迅速に老人福祉法に規定する老人短期入所施設等に入所させる等の措置をとらなければならない。
- 3 生命または身体に重大な危険が生じている虐待を発見した者は，市町村等へ通報しなければならない。
- 4 要介護高齢者に対して，椅子で座位の姿勢を保持するために，クッションを用いることは高齢者虐待にあたる。
- 5 市町村が高齢者虐待に関する通報または届出を受けた場合は，通報または届出を受けた市町村の職員は，その通報または届出をした者を特定させるものを漏らしてはならない。

問題 60 成年後見制度について適切なものはどれか。3つ選べ。

- 1 成年後見制度とは、認知症等により判断能力が不十分であるために意思決定が困難な者の判断能力を後見人等が補っていく制度である。
- 2 法定後見制度では、市町村長は、65歳以上の者等について特に必要があると認めるときに、後見開始の審判の請求をすることができる。
- 3 任意後見制度では、被後見人の判断能力が十分なときに契約が締結されるため、後見の開始後に後見人が解任されることはない。
- 4 任意後見契約では、個々の契約において、後見人に付与する代理権の範囲を定めることができる。
- 5 後見人、保佐人、補助人に共通する権限として、被後見人等の財産に関する法律行為についての包括的な取消権があげられる。

2011（平成23）年度 どんたく模試正解

介護支援分野		保健医療分野基礎		保健医療分野総合		福祉サービス分野			
問題 1	1・2・4	問題 26	2・4	問題 41	2・5	問題 46	1・4・5		
問題 2	2・4	問題 27	1・2	問題 42	1・3・5	問題 47	1・3		
問題 3	2・5	問題 28	1・5	問題 43	1・2	問題 48	3・5		
問題 4	2・3	問題 29	2・3・4	問題 44	1・3・4	問題 49	1・5		
問題 5	2・3	問題 30	1・2・5	問題 45	1・4・5	問題 50	1・4・5		
問題 6	1・3	問題 31	1・2・5			問題 51	2・5		
問題 7	2・4	問題 32	2・5			問題 52	2・3・5		
問題 8	2・4	問題 33	1・4			問題 53	1・2		
問題 9	1・3	問題 34	3・4			問題 54	3・4		
問題 10	1・3・5	問題 35	3・4			問題 55	2・4・5		
問題 11	3・4	問題 36	4・5			問題 56	4・5		
問題 12	1・2・4	問題 37	1・3			問題 57	1・2		
問題 13	1・2	問題 38	1・5			問題 58	1・3		
問題 14	1・4	問題 39	1・5			問題 59	1・3・5		
問題 15	1・5	問題 40	2・4・5			問題 60	1・2・4		
問題 16	3・4								
問題 17	3・4								
問題 18	3・5								
問題 19	4・5								
問題 20	1・2・4								
問題 21	1・2・4								
問題 22	1・3・5								
問題 23	1・3								
問題 24	2・4								
問題 25	1・4・5								